

第12回 HIS 研究会 開催報告（2020年2月14日開催）

HIS (Human-oriented Information Systems) 研究会では“人間中心の情報システム”の考察や議論を深めるために研究や実務に係わる方のお話を伺っています。当学会会長の山口高平先生（慶応大学工学部管理工学科）の研究室に共同研究のために来日されているウィーン大学情報工学科の Dimitris Karagiannis 教授*にご講演いただきました。

●日時/場所：2020.2.14(金)18～20時 / 専修大学神田校舎

●出席者：6名

●演題：「SUPPORTING DIGITALISATION THROUGH CONCEPTUAL MODELLING : The ADOxx Metamodeling Platform」

メタモデリング**のためのプラットフォームである ADOxx (complex, distributable, scalable and component-based metamodeling platform) について、概念モデリングによるデジタル化支援の観点から紹介。

*Karagiannis 教授 profile : <https://ufind.univie.ac.at/en/person.html?id=6781>

ご専門は Knowledge Modeling、Design Thinking (OMiLAB : The Open Models Laboratory <https://austria.omilab.org/psm/home>)、Enterprise Architecture

**メタモデリング・アプローチはソフトウェアエンジニアリングやシステムエンジニアリングのみならずコンピューターサイエンス、その他の分野への応用が期待されている。

●講演概要

- ・ SMART MOBILITY のビジネスモデル（ウィーンにおけるオンデマンドの Car シェア）を事例に、概念モデリング（Conceptual Modeling）によるデジタル化を説明。
- ・ AI のアプローチ：SYMBOLIC vs NON-SYMBOLIC AI、Data-driven(Observe the Past) vs Knowledge-driven AI (Innovate the Future)
- ・ 方法・ツール：Scene2Model Tool (Design Thinking)、ADOxxPlatform (Conceptual Modelling)、OMILAB Environment (Digital Innovation)
- ・ デザイン思考はイノベーションのための人間中心のアプローチ（a human-centered approach）である（SAP Scenes Methodology の事例）。
- ・ ADOxx と OMILAB の紹介。

●ディスカッション

- ・ 参加少数であったが、AI のアプローチや概念モデリングについて、参加者それぞれ実のある質疑ができた。

以上 研究会主査 川野喜一